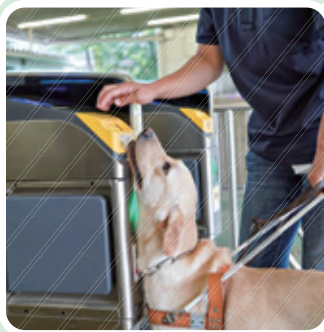


知っていますか？

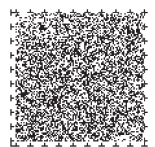
ほ じょ けん
補助犬

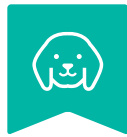
からだ しょうがい ひと さぽーと
～体に障害がある人をサポートしています～



一人ひとりと生きるまち。

東京都





からだ しょうがい ひと さぼーと
あなたは 体に 障害がある人を サポートする
ほ じょ けん
補助犬を知っていますか？

しょうがい ひと かつどう たす しんたいしょうがいしゃ ほ じょ けん
障害のある人たちの活動を助けているのが 身体障害者補助犬です。
め ふ じ ゆう ひと たす もうどうけん て あし ふ じ ゆう ひと たす かいじょけん
目が不自由な人を助ける「盲導犬」、手や足が不自由な人を助ける「介助犬」、
みみ ふ じ ゆう ひと たす ちょうどうけん しゅ いぬ
耳が不自由な人を助ける「聴導犬」の3種の犬がいます。

もうどうけん
盲導犬

もうどうけん め しょうがい ひと ある
盲導犬は、目に障害のある人と一しょに歩いて、
こうさてん だんき と もの し
交差点や段差で止まったり、物を知らせたりして、
あんぜん ある
安全に歩くことができるように助けます。
からだ は ー ね す ほ じょ けん ゆ ー ざ ー は 白、また
は、黄色のハンドルを持っています。
この ー ね す 「盲導犬」であることをしめす たい
大切な目印です。



どうぎ
胴着



どうぎ
胴着

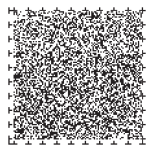


かいじょけん
介助犬

かいじょけん からだ しょうがい ひと て あし お
介助犬は、体に障害のある人の手足となって、落
とした物のひら たり、ドアをあけ閉めしたりするな
ど、まいにち せいかつ どうき たす
毎日、生活の動作を助けます。
そと で かいじょけん か どうぎ
外に出るときは、「介助犬」と書かれた胴着をつけ
ています。

ちょうどうけん
聴導犬

ちょうどうけん みみ しょうがい ひと ちゃいむ てんわ
聴導犬は、耳に障害のある人に、チャイムや電話
の呼び出し音など、生活の中で必要な音を知らせ
て行動を助けます。
そと で ちょうどうけん か どうぎ
外に出るときは、「聴導犬」と書かれた胴着をつけ
ています。



しんたいしょうがいしゃ ほ じょ けん ほう
身体障害者補助犬法

しんたいしょうがいしゃ ほ じょ けん ほう しつ たか ほ じょ けん そだ
身体障害者補助犬法は、質の高い補助犬を育
て、しょうがい ひと じりつ しゃかいさん か すす
障害のある人の自立と社会参加を進める
ことを目的とした国の決まりです。



くに き
国の決まりには、
3つの柱があります。

1つめ

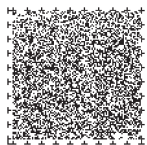
ほ じょ けん れんしゅうがいしゃ しつ たか ほ じょ けん そだ
補助犬の練習会社は、質の高い補助犬を育て、
しどう おこな
指導を行っています。

2つめ

ほ じょ けん ゆ ー ざ ー ほ じょ けん こうどう かんり
補助犬ユーザーは、補助犬の行動を管理します。
ほ じょ けん からだ けんこう えいせい ただ かんり
補助犬の体の健康・衛生を正しく管理しています。

3つめ

こうきょうしせつ でんしゃ ばす ひこうき こうきょうこう
公共施設や電車やバス、飛行機などの公共交
つうきかん すーばー れすとらん ほてる
通機関、また、スーパーやレストラン、ホテルなど、
たくさんの人がつか たてもの ばしょ ほ じょ
多くの人が使う建物や場所などでは、補助
けん ゆ ー ざ ー ほ じょ けん つ
犬ユーザーに補助犬が付きそうことをことわることは
できません。





くんれんじぎょうしゃ いんたびゅー 訓練事業者へのインタビュー



こうえきざいだんほうじん
公益財団法人
アイメイト協会
しおやたかお だいはりり
塩屋隆男 代表理事

う い こま ほじょけんゆーざー
受け入れて 困ったときは、補助犬ユーザーへ。

たが おも ひろ あんしん
お互いの 思いやりで 広がる 安心

う けいれる がわ ほじょけん う けいれかた
受けいれる 側は、補助犬の 受けいれ方について
心配があるかもしれません。

ほじょけん こうどう ほじょけんゆーざー
補助犬の 行動については、補助犬ユーザーが
すべて 責任を 持ちます。

ほじょけん つうろ
たとえば、補助犬が 通路を ふさいでいるような
ことが あれば、直接、補助犬ユーザーに 伝えて
ください。

ほじょけん りゆう しゃかいさんか ひと り
補助犬を 理由として、社会参加している人の 利
用を ことわることは できません。

ほじょけんゆーざーには、補助犬の 行動や 衛生・健
こうかんり せきにん せきにん
康管理をする 責任があり、受けいれる 側には 受
けいれの 責任があります。お互いに 責任を 果た
すことが 大事だ と思います。

こいぬ ころ ほぐく しゃかい きずな
子犬の 頃から 育てきた 社会との 絆。

じりつ ささ ぱーとなー みまも
自立を 支える パートナーを 見守って

ほじょけん こいぬ ころ こどもや とし ひと
補助犬は、子犬の 頃から、子どもや 年をとった人
と 触れ合って 社会化に 努め、大人になったら 電
しゃ ばすに 乗ったり、スーパーに 行くなどの 練
しゅう
習を します。

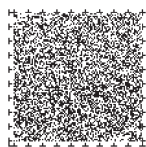
すーぱー たいざいじかん みじか りよう はいせつ
スーパーなどの 滞在時間が 短い 利用では、排泄を
す ませせて お店に入るの で 心配いりません。ホテル
りよかん しゆくほくしせつ ほじょけんゆーざー
や 旅館などの 宿泊施設のときは、補助犬ユーザー
に その 犬の 排泄方法を 確認してください。

よ なか ほじょけん じりつ しゃかいさんか
世の中には、補助犬と 一緒に 自立や 社会参加
する ひと います。犬の 苦手な ひと いると 思いま

すが、補助犬ユーザーの アクセス権に
ご理解ください。



こうえきざいだんほうじん
公益財団法人
にほんほじょけんきょうかい
日本補助犬協会
ばくよしこ だいはりり
朴善子 代表理事



しせつとう どうはん ようす 施設等への 同伴の様子

ほじょけん ほじょけんゆーざー こうどう かんり
補助犬は、補助犬ユーザーが 行動を 管理しています。そのため、まわ
りに 迷惑を かけることは ありません。

れすとらん いっしょに 行って、テーブルや いすの 下にかくれて、
ある まわ ほ
歩き回ったり、吠えたりすることは ありません。

いつも からだを きれいに して、電車や タクシーを 使って、飲食店や
びょういん ほてる
病院、ホテルなど、いろいろな 場所に いっしょに 行くことができます。

このように、補助犬は 障害のある人の 活動を 助ける 存在です。



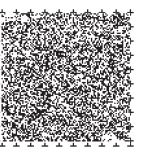
こうつうきかん どうはん ほじょけん 交通機関に 同伴する 補助犬



れすとらん どうはん ほじょけん レストランに 同伴する 補助犬



しょうぎょうしせつ どうはん ほじょけん 商業施設に 同伴する 補助犬





補助犬ユーザーへのインタビュー



目に障害のある人と盲導犬

この子とはもう4年いっしょにいます。だから、街中では、曲がり角や段差があるところではちゃんと止まります。病院では、中に入れない場所もあります。それ以外は診察の部屋にも入れるし、病院に入れない、ということはありません。今では犬といっしょにタクシーに乗ることもできます。



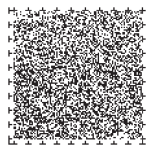
手足に障害のある人と介助犬

介助犬のユーザーは、車いすを使っている人がほとんどです。車いすだけでも幅をとります。介助犬がいっしょにいと、より幅が必要なため、せまい場所では行動がしづらという困ることはあります。



耳に障害のある人と聴導犬

携帯電話や自ざまし時計などの音を私に知らせてくれるので、助かります。聴導犬は小さな犬なので、よくペットにまがわれます。聴導犬の mant を見せても、店などにいっしょに入ることをことわられることがあります。



補助犬への接し方

- 1 補助犬に話しかけたり、おやつなどの食べ物を与えないでください
- 2 補助犬の気を引く行為は避けてください
- 3 補助犬や補助犬ユーザーをスマートフォンなどで撮影しないでください
- 4 補助犬ユーザーが困っている様子を見たら、声をかけてください



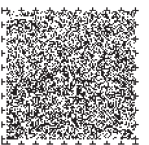
ペットとの違い

補助犬は、障害のある人の活動を助けるための練習をしています。補助犬ユーザーは補助犬にしっかりと健康管理やしつけを行っています。また、一般の犬と見分けがつくように、ハーネスなどをつけ、公共施設をはじめ、たくさんの方が使う施設にいっしょに入ります。補助犬はペットではありません。補助犬には補助犬ユーザーの自立と社会参加をささえる役割があるということを理解してください。補助犬は、目や耳、手足に障害のある人の大切なパートナーです。補助犬についてよく学び、皆さんができることを考え、より良い社会をいっしょにつくっていきましょう。



▲ペット

▲補助犬



ほ じょ けん
補助犬は、
め みみ て あし しょうがい ひと
目や耳、手足に障害のある人の
たいせつ
大切なパートナーです。

ほ じょ けん まな
補助犬についてよく学び、
みな かんが
皆さんができることを考え、
よ しゃかい いっしょ
より良い社会を一緒に
つくっていきましょう。



■補助犬に関する問い合わせ

東京都身体障害者補助犬苦情等相談窓口
電話 03-5320-4147(直通)

発行 令和8年3月
企画 東京都福祉局障害者施策推進部
電話 03-5320-4147
編集・印刷 株式会社ドウ・アーバン

■取材協力／(公財)アイメイト協会 (公財)日本補助犬協会 ナイルレストラン

